## 令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	交付対象事業 の名称	事業内容(目的・効果)	事業の対象	事業実施状況	成果目標	効果・評価 今後の方向性	経済対策と の関係	事業 始期	事業終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
	隔離施設整備 事業	医療体制の脆弱な本村は、各地区に診療所を設置し、看護師2名体制(医師は村内診療所を設置し、看護師2名体制(医師は村内診療所を巡回)である。現在は、村内へコロナウイルスを持ち込まないよう対策を講じているが、離島である本村に感染者が発生した場合に隔離できる施設の改修を実施する。また観光客の受入を5月から始めており、濃厚接触者等を考えると隔離施設に限界があり、さらに隔離施設を整備する。	村民・観光者等	隔離施設改修工事 硫黄島① 設計監理委託:1,452,000円 工事:14,982,000円 硫黄島② 工事:2,420,000円	各地域に隔離施設1~2棟を整備	隔離施設を整備し、感染拡大防止につなげられる環境を整備することができた。 今後も隔離施設を活用し、感染拡大防止に努める。	③- I -3. 感 染防止策の 徹底	R4.4	R5.3	18,854	18,854			経済課
	テレワーク環 境等整備事業	新型コロナウイルス感染症対策として、庁舎 内の密を回避し「新しい生活様式」に対応した 業務体制の確保と業務の効率化を図り、オン ライン会議やテレワークのためのパソコンを整 備し「働き方の新しいスタイル」を構築する。	役場職員	パソコン購入 パソコン 70台分 10,516,000円	庁内のテレワーク環境を整備 各職員 1台ずつ配備	各職員ペテレワークのためのパソコンを整備し、「新しい生活様式」に対応した業務体制の確保と業務の効率化を図ることができた。	③-Ⅲ-2. 地 方を活性化 し、世界とつ ながる「デジタ ル田園構想」	R4.4	R5.3	10,516	10,516			総務課
3	PCR検査事業	本村は医療体制が脆弱なため、水際対策としてコロナウイルスを持ち込まないよう入島前にPCR検査の確認を行っている。現在、県の無料検査で対応しているが、県の無料検査を対応しているが、県の無料検査を実施して後も引き続きPCR検査や抗原検査を実施しできるよう検査キットを整備し、コロナウイルス感染症予防に努める。	村民・役場職員	抗原検査キット @14,234円×194回 PCR検査キット @2,025円×100個	村内におけるコロナウイルス感染 者 0%	PCR検査キットを整備し、事前に感染確認を行うことで、島内でのコロナウイルス感染予防に努めた。今後もコロナウイルスを島内へ持ち込まない対策に努める。		R4.7	R5.3	2,964	2,964			民生課
4	無線システム 普及支援事業 費等補助金	コロナ禍において、リモートワークや学校での 遠隔授業などインターネットの活用が多くなっ てきている。また行政区域外に役場を置く特異 な村であり、医療の脆弱な島へコロナウイルス をもちこまないようにすると同時に密を回避す るため、住民とオンライン会議を行っている状況であり、今後もこのような状況が続くと思わ れる。 しかしながら、通信環境が非常に悪く、オンラ イン会議や在宅等での利用に支障をきたして いるところである。コロナ禍における在宅主勤務 等の「働き方の新しいスタイル」を構使す向上 や地域活性化を図るため、ブロードパンドの高 度化整備が急務となっており、できる限り速や かに整備する必要がある。	村民	高度無線環境整備事業 ·工事:1,565,300千円 ·設計監理委託:47,630千円	光ファイバケーブル等の伝送用専用線機器の更新及び高度化の整備 高度化に向けたブロードバンド整備率 100%	機器の更新及び高度化の整備により、 医療や教育等住民生活の利便性向上 や地域活性化に繋がった。	③-Ⅲ-2. 地地 一型活発界で 一型活発をデが で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	R4.4	R6.3	1,612,930	414,656	1,037,520	160,754	総務課
5	生活支援給付 金	コロナ禍における物価高騰の影響を受けてい る住民税非課税世帯や子育て世帯へ給付金 を支給する。	非課税世帯及び子育て 世帯	給付金の支給 非課税世帯 60世帯×50,000円 子育て世帯 子ども57名×50,000円	コロナ禍における物価高騰等に直 面する生活者の負担軽減 非課税世帯及び子育て世帯給付 100%	コロナ禍における物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯や子育て世帯すべてに給付金を支給し、経済的に支援することができた。	価高騰等に直	R4.6	R5.3	5,850	5,850			民生課
	水道料金補助 事業	本村は小規模離島であり、本土で購入できる物価等に移送費等が追加され、通常でも本土より高い状況である。加えて、コロナ禍でさらなる物価高騰の影響を受けており、住民及び宿泊事業者等への水道料金の負担軽減を図る。	村民	水道料金の基本料金の免除(簡易水道事業特別会計へ繰出) ф13 213個×1,113円/2月×5 11個×1,113円/2月 5個× 556円/1月 ф20 11個×1,656円/2月×5 ф25 6個×2,389円/2月×5 ф40 4個×6,820円/2月×5 計 1,499,518円(税抜1,363,198円)	コロナ禍における物価高騰の影響 を受けた住民及び宿泊事業者の水 道料金(基本料金)免除 免除を受ける住民及び宿泊事業者 100%	けた住民及び宿泊事業者の水道料金 (基本料金)免除し、経済的に支援する ことができた。	④-IV. コロナ 禍において物 価高階等生活困 事者等への 支援	R4.6	R5.3	1,363	1,363			民生課

No	交付対象事業 の名称	事業内容(目的・効果)	事業の対象	事業実施状況	成果目標	効果・評価 今後の方向性	経済対策と の関係	事業始期	事業終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金等	一般財源	担当課
	净化槽使用料 金補助事業	本村は小規模離島であり、本土で購入できる物価等に移送費等が追加され、通常でも本土より高い状況である。加えて、コロナ禍でさらなる物価高騰の影響を受けており、コロナ禍における物価高騰の影響を受けた住民及び宿泊事業者等への浄化槽使用料金の負担軽減を図る。	村民·宿泊事業者等	浄化槽使用料金の減免にかかる費用 5人槽① 18基×2,970円/月×6月 5人槽② 152基×3,888円/月×6月 1基×3,888円/月×4月 1基×3,888円/月×3月 7人槽 1基×3,684円/月×6月 10人槽 6基×5,940円/月×6月 15人槽 6基×7,236円/月×6月 21人槽 2基×8,532円/月×6月	コロナ禍における物価高騰の影響 を受けた住民及び宿泊事業者の浄 化槽使用料金免除 免除を受ける住民及び宿泊事業者 100%	けた住民及び宿泊事業者の浄化槽使 用料金免除し、経済的に支援すること ができた。	④-IV. コロナ 禍において物 高階等に直 面する生活困 京者等への 支援	R4.7	R5.3	4,498	4,498			民生課
8	生活支援給付金(低所得者) (R4重点交付金分)	コロナ禍におけるエネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けている低所得世帯(世帯所得3,000千円未満住民税非課税世帯を除く)へ給付金を支給する。	低所得世帯	給付金の支給 低所得世帯 60世帯×50,000円	コロナ禍におけるエネルギーや食料品等の物価高騰等に直面する生活者の負担軽減 低所得世帯給付 100%		④-IV. コロナ 禍において物 価高騰等に直 面する生活困 窮者等への 支援	R4.10	R5.4以降	3,000	3,000			総務課
9	しおかぜ留学 生感染確認事 業	医療体制の脆弱な地域のため、新型コロナウイルスを持ち込まないよう対策を講じているところである。県内外から受け入れているしおかぜ留学生の長期休暇終了後、帰島する前の新型コロナウイルス感染確認のための滞在費用、並びICPCR検査受診を補助する。	しおかぜ留学生 20名 及び保護者	感染予防のためのアルコール消毒液 62,208円 抗原検査キット等 56,936円 PCR検査受検料補助金 6件 21,200円	クラスター発生 0%	村外からのしおかぜ留学生が帰島する際に未然にコロナウイルスを持ち込まないよう感染確認等を実施することができた。コロナウイルスを島内へ持ち込まない対策に努める。	③- I -3. 感 染防止策の 徹底	R4.4	R5.3	140	140			教育委員会
10	フェリー <i>み</i> しま 感染対策事業	離島である本村において、フェリーは住民の 唯一の交通手段である。住民はもちろん観光 客も利用するフェリーであり、令和3年に抗菌 作業を実施したが、新型コロナウイルス感染を 防ぐため空間噴霧装置を活用する。	フェリーみしま利用者	銀イオン水10,450円/20L×13=135,850円 9,350円/20L×50=467,500円	村内におけるコロナウイルス感染 者 0%	務装直を活用した。	③- I -3. 感染防止策の 徹底	R4.4	R5.3	603	337		266	総務課